

視点

東日本大震災から1年を経て

日本私立学校振興・共済事業団

理事長 河田 悅一



昨年3月11日の東日本大震災は、想像を絶するものでした。

震災以降、幾度か被災地を訪問した私の眼底には、震災の傷跡の生々しい街並みが、つよく焼きついています。それだけに、今回の震災で被害をうけられた方々、とりわけ、

大きく被災された幼稚園関係の皆様に、心からお見舞を申し上げます。

訪問したなかで最も印象的だったのは、宮古市の幼稚園でした。道路は清掃されていました。だが、園内には瓦礫の山が築かれ、津波の破壊力、自然の猛威に驚愕しました。

ご夫婦で運営しておられる幼稚園でありましたが、津波で被災しながらもご父母の協力をえて、浸水した園舎や園庭を片付け、園を再開しておられました。そのたましさ、園長先生ご夫妻そして先生方の園児に対する愛情、園児たちの無邪気な表

情に、無事で良かったとの想いを、心底から抱きました。

しかし、4月から入園を楽しみにしていた幼児が犠牲になったこと、職員にも犠牲になられた方がいらしたことを聞き、胸が痛みました。

あれから1年、被災された方のなかには、仮設住宅へ入居された方、故郷を離れられた方、家族と離れて

生活せざるをえない方など、大震災で生活環境が一変。その苦しみ、悲しみは計り知れぬものと推察いたします。

震災当初は津波がクローズアップされましたが、現在は原発事故による放射性物質の汚染被害の重大さが明らかになりつつあります。

そうした状況下で、復興に向けた街づくりの青写真がなかなか描けず、そのため、被災地における幼稚園経営の将来像までが不透明に

なっています。

次の世代を育てる重要な教育機関である幼稚園は、規模が小さく家族で運営している法人も多数あります。大規模な大学と違つてその地域に根ざした教育・運営をおこなつており、いわば「地域の絆の拠点」でもあります。

けれども、義務教育ではないため、今回のような大災害では入園を見送る家庭も数多くあるのではないかと思います。さらに避難による園児の減少が幼稚園の収入を激減させるだけではなく、復旧費用が莫大な金額となり、事業継続の判断を迫られ、教職員を解雇せざるをえないケースもあるのではないかでしょうか。

被災地の一日も早い復興を願うとともに、そのための努力を私ども私学事業団はすべての役職員が心を一いつにして続けてまいりたい——と、考えております。

私学事業団では、私学の振興並びに加入者に対する年金・福祉の事業をおこなっております。

そのため、①被災した園舎の復旧事業・経営資金への長期低利の特別融資の実施、②被災した私学と支援

の意思のある個人・企業などを寄付金という形で結びつける「私学支援ポータルサイト」の新設、③加入者への見舞金など給付事業の迅速化・効率化をおこなうとともに、④昨年秋には、役職員を動員して被災三県のほぼすべての幼稚園、二九五法人へお見舞に出向き、現地の生の声を聞いてまいりました。

本年は、これらのこととを十分に踏まえながら、山積する多くの課題の解消に向けた対応を引き続きおこなう。被災法人や被災者に対する「心遣い」「思いやり」を忘れることがなく、幼稚園の復興に最大限の支援をしていく覚悟であります。

その状況は想像を絶するものがあります。事業継続の断念に至らぬまでも、当座の運営資金に窮している幼稚園も多く存在しています。



特集。東日本大震災

から1年を経て

平成23年3月11日14時46分頃に三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生しました。

この地震により宮城県栗原市で震度7、宮城県、福島県、茨城県、栃木県で震度6強を観測したほか、北海道から九州にかけて広範囲で揺れを観測しました。またこの地震に伴い、太平洋沿岸を中心に非常に高い津波を観測。特に東北地方から関東地方の太平洋沿岸では津波によって甚大な被害を受けました。

この地震による死者15853名、行方不明者3286名（2月22日現在、消防庁・警察庁公表資料）。全日私幼連加盟園では、園児71人（岩手10、宮城57、福島4）、教職員3人（岩手1、宮城2）が死亡、園児4人（岩手1、宮城3）、教職員3人（岩手2、宮城1）が行方不明。（平成23年7月15日現在・全日私幼連調べ）。

さらに、津波により被害を受けた東京電力福島第一原子力発電所では、放射性物質の漏洩を伴う重大な原子力事故に発展し、原発のある浜通り地域を中心に、周辺一帯の福島県住民は長期の避難を強いられるようになりました。また、液状化現象、地盤沈下等により、各種ライフラインが寸断されるなど、東日本大震災では広大な範囲で被害がありました。

* * *

今号では、「東日本大震災から1年を経て」と題して特集を組みました。この特集を通して、一人ひとりの3・11を振り返るとともに、被災地への長期的な復興・復旧の支援につながることを願います。



幼稚園の復興を記録映画に

(財)全日本私立幼稚園児童教育研究機構

理事長 田中 雅道

昨年3月11日東日本を襲った大震災・大津波によって生じた災害に対して、全国の私立幼稚園の皆さま方が温かいご支援をいただきました

から感謝申し上げます。地震被害だけでなく、原発問題が大きくなっています。

は危険なものがありますが、これか

らも継続した支援を行なつていただけるようよろしくお願いします。

さて、本財団では、この大震災に立ち向かって「私学の精神」をいかんなく發揮しておられる先生方の記録を残したいという思いで、現在記録映画の撮影を行なっています。

第1巻として岩手県大槌町「おさ

なこ幼稚園」と「みどり幼稚園」の復興ならびに地域の中での私立幼稚園が果たした大きな役割を記録したものが完成しました。その中で、津波で大きな精神的ダメージを受けた子どもたちの心の傷を癒すために、幼稚園が

いつもの仲間といつもの先生との生きて、想定外の大災害が起つたときに、それぞれの先生方は現場で何を悩み、何を考えたかの記録を編集中です。予算の制約があり都道府県に配布して教職員研修に活用していただけるのは少し先になります。

「いのちを大切にする日」制定へ

全日私幼連

全日私幼連では、卒園や修了を迎える年度末の一日を、園児とともに教職員や保護者・関係者によつて、「いのち」の貴さに向きあう中で「いのち」あることに感謝するとともに、3月11日の出来事に思いを寄せる日を「いのちを大切にする日」と制定しました。

この「いのちを大切にする日」は、3月11日を含む1週間を毎年、全日本私幼連が設定周知し、各園ならびに各団体で主体的に取り組むこととします。各園の実情により、各幼稚園において定めるものとします。

【取組内容(例)】

▼「いのち」について考えるきっかけになる絵本等を読む▼自分が生まれた時のおとうさん、おかあさん、家族の思いを伝えてもらう

▼お弁当や給食時に、食事を被災された先生方や保護者の方々の貴重な体験を皆様方と共有でき、息の長い支援活動が継続されますことを祈っています。

月には都道府県団体に配布できる予定ですので、先生やPTAなど保護者の方々に見ていただき、児童教育の持つている力を少しでも感じていただければ幸いです。大いに活用して頂きますことをお願いします。

続けて、被災された幼稚園の園長先生や教職員の方々の証言をもとにして、想定外の大災害が起つたときに、それぞれの先生方は現場で何を悩み、何を考えたかの記録を編集中です。予算の制約があり都道府県に配布して教職員研修に活用していただけるのは少し先になりますが、ご活用ください。もう1つは、福島県原発被災者の復興の過程を追っています。運動場で遊べない子ども、原発の近くに在つて地震発生以来、立ち入ることのできない幼稚園の記録など少し息の長い視点で記録に残していきたいと考えています。

活がいかに大きな力があるのかを記録として残すことができました。4月には都道府県団体に配布できる予定ですので、先生やPTAなど保護者の方々に見ていただき、児童教育の持つている力を少しでも感じていただければ幸いです。大いに活用して頂きますことをお願いします。

全国からのご支援に感謝

岩手県私立幼稚園連合会会長 坂本 洋

昨年の東日本大震災津波の発生は、尊い多くの生命の犠牲と日常的な社会基盤の壊滅的被害をもたらしました。特に岩手県内沿岸部の私立幼稚園関係者の多くの方々が物心両面の甚大な被災に遭われました。

私たち団体としては、県内被災園に対し微力ですが、一日も早い平常運営復旧のため被災状況のひどい同僚園へはボランティアを募り復旧作業に汗を流しました。同時に全日本私立幼稚園連合会加盟園からの多大な義捐金をお見舞いとして託され、

建物半壊以下の被災園はほぼ平常運営に復しました。しかし、全壊施設の復旧は困難を極めております。同時に心のケアをする事例等については今後とも長い目で見守りを進めることにしております。

また、当時を検証し今後の危機状況対応については、沿岸部津波対応は殆どが二次避難を余儀なくされた実態があり、それが園独自の状況判断により消防署員等の判断指示によることも分かり、今後のマニュアル改善に結びつく事例としてまとめつります。

日私幼連のご厚情により岩手県連として3千万円を拠出金としてご寄付することができました。ひとえに加盟園の温かいご支援の賜物で心から感謝を申し上げる次第です。

その結果、被災後約一年を経過し建物半壊以下の被災園はほぼ平常運営に復しました。しかし、全壊施設の復旧は困難を極めております。同時に心のケアをする事例等については今後とも長い目で見守りを進めることにしております。

また、当時を検証し今後の危機状況対応については、沿岸部津波対応は殆どが二次避難を余儀なくされた実態があり、それが園独自の状況判断により消防署員等の判断指示によることも分かり、今後のマニュアル改善に結びつく事例としてまとめつります。

1年でした。全国からさまざまな形でご支援を頂きました。改めて御礼申し上げます。

さて、津波で全壊した幼稚園のうち、未だ再開できない幼稚園が1園、開している幼稚園が2園あります。地区の公民館等を借りて再開している幼稚園が3園、姉妹園の一室で再開している幼稚園が2園あります。

震災前に幼稚園があつた周辺はすべて更地になり、町の復興計画を待つている状況にあります。この6園の復興は2年あるいは3年先になることが予想されます。県団体としてもできる限りの支援をと考えています。

平成24年1月中旬に津波で被災した幼稚園の主任の先生方7人から震

章を迎えた保護者に直ぐ引き渡さないことを基本とする対応を決定しております。大震災復旧、復興には、まだ時間がかかります。なお、岩手県教育委員会は事例検証から、津波警報発令の場合は、児童を迎えに来た保護者に直ぐ引き渡さないことを基本とする対応を決定しております。

（岩手県盛岡市・盛岡幼稚園）

大災害の体験を後世へ

宮城県私立幼稚園連合会理事長 村山 十五

短いようでもあり長く感じられた災当日の様子を聞く機会がありました。A園は、震災当日、園長不在でご支援を頂きました。改めて御礼申し上げます。

さて、津波で全壊した幼稚園のうち、未だ再開できない幼稚園が1園、開している幼稚園が2園あります。地区の公民館等を借りて再開している幼稚園が3園、姉妹園の一室で再開している幼稚園が2園あります。

震災前に幼稚園があつた周辺はすべて更地になり、町の復興計画を待つている状況にあります。この6園の復興は2年あるいは3年先になることが予想されます。県団体としてもできる限りの支援をと考えています。

平成24年1月中旬に津波で被災した幼稚園の主任の先生方7人から震

がかかるでしょうが県連一体となり共に私立幼稚園の充実発展、そして被災された同僚園への一日も早い復興を念じ尽力してまいりたいと思つております。

被災県団体長からの報告

私立幼稚園に空前の被害

東日本大震災⑫

てくる子どもたちに語り伝える」と
ができればと願っています。

平成24年度の県団体の事業として、各園の被災状況や復旧後の写真

を掲載した震災報告集を作成し、関係者に配布したいと考えています。今後の防災対策の一助になれば幸いです。（宮城県仙台市・村山学園）

とができず、また、年間を通して屋外での栽培活動、遠足、園外保育を中止し、運動会は体育館等で行なつてきました。屋外で遊べない状況で園児の体力低下が心配され、各園と

たことは、不幸中の幸いでありました。
復旧・復興について、現在も県担当課の支援と協力を仰ぎながら、緊密に連携をはかりつつ懸命に取り組んでおりますが、復興計画、復旧作業等の遅れで、いまだ数園が仮園舎での保育活動を行なつており苦しんでいます。

3月12日には東京電力福島第一原子力発電所が爆発し、福島県全体が大きな不安に襲われました。全国からは救援物資が運ばれ、義捐金、励ましのメールをいただきました。

多くの園は3月中休園、4月半ば以降、保育を再開しました。再開したものの子どもたちは園庭で遊ぶことは平成22年度に比して平成23年度は3千人減、平成24年度はさらに3千人の減になります。放射線量の高い福島市、郡山市、いわき市を中心に園児の県外流出が大きく、県全体の私幼園児数は前年の園児数の1/2害程度に減っています。

一年を振り返って、園庭での自由な遊びができないことから、園児の運動機能や体力の低下が観察されます。また、園庭、園外での活動が疎外された結果、園児の造形的表現に変化が表れていることも観察されます。数値で測定できない子どもの面のストレス等が今後どのように変化するか調査する必要があります。

さうじに、本県では東京電力福島第一原子力発電所から出る放射能被害の問題も深刻化し、各園では大変苦慮していますが、皆様からの心温まる義捐金の一部を放射能測定器の購入に活用させていただき、園児や保護者に対する安全・安心の確保に大変役立っています。

津波による全壊2園は、4月に入

多くの園は3月中休園、4月半ば以降、保育を再開しました。再開したものの子どもたちは園庭で遊ぶこ

(福島県福島市・福島めばえ幼稚園) 面のストレス等が今後どのように変化するか調査する必要があります。

変役立つております。

原発事故による20km圏内の警戒区域4園は現時点では再開のめどが

はかりしれないご

又援に深謝

す。そんな時、本連合会として即座に情報の収集や伝達、そして県担当

卷之三

茨城県私立幼稚園

園連合会会長 橋本 幸雄

卷之三

しれないご支援に深謝
茨城県私立幼稚園連合会 会長

橋本幸雄

東北地方太平洋沖地震につきまし

いたします。

セントラルを開設しました。30km圏内の避難準備区域内の3園のうち2園が10月再開しましたが、園児は避難

では、全国の方々、特に私立幼稚園関係者の皆様から、はかりしれないご支援と力強い激励をいただき深謝

芳城県下 私立幼稚園202園のうち128の園が被災してしまいましたが、人的被害が一人も出なかつた

とあるが、改めてお詫びせられた。
この一年であります。

(茨城県つくば市・栄幼稚園)

復旧・復興支援に携わつて

文部科学省高等教育局私学部私学行政課長

勝野 頼彦



償交渉が本格化していくものと思いますが、引き続き適切な情報提供と支援に努めてまいります。

幼稚園が震災前の姿を取り戻すためには、教育環境の整備や安定的な

東日本大震災から約一年が過ぎました。被災地における甚大な被害は

一年経つてもなお大きな爪跡を残しています。亡くなられた園児や保護者、教職員の皆様の御冥福を心から

お祈り申し上げるとともに、被災された皆様には謹んでお見舞いを申し上げます。

今回の震災において、幼稚園は沿岸部の園を中心に、特に深刻な被害を受けました。地震発生直後から、都道府県や私学団体の協力を得て被

害状況の把握に努めましたが、徐々に明らかになる被害の実態は私たちの想像を超えるものであり、改めて

今回の震災の深刻さを痛感しました。この一年間、私たちは行政の立場から、被災地の私立学校の再生のた

めに微力ながら尽力してまいりました。都道府県や私学団体等を通じて、幼稚園関係者の具体的な御要望を把握し、予算措置や制度改正、通知の発出等により、その実現に努めてき

ました。また、幼稚園関係者からの接御説明しました。今後、各園の賠

償状況の把握に努めましたが、徐々に明瞭になる被害の実態は私たちの想像を超えるものであり、改めて

今回の震災の深刻さを痛感しました。この一年間、私たちは行政の立場から、被災地の私立学校の再生のた

めに微力ながら尽力してまいりました。都道府県や私学団体等を通じて、幼稚園関係者の具体的な御要望を把握し、予算措置や制度改正、通知の発出等により、その実現に努めてきました。また、幼稚園関係者からの接御説明しました。今後、各園の賠

私立幼稚園の復旧・復興を支援

文部科学省高等教育局私学部私学助成課長

森田 正信



予算、24年度予算案等により復旧・復興に取り組んでまいりました。

まず、①施設等の災害復旧の迅速化のため、事業計画書の作成段階から、当課職員が直接、被災地に出向き、各園のご相談に対応したほか、提出書類や手続の簡素化も図りました。私学部全体、幼児教育課等の協

東日本大震災では、私立幼稚園の被害は15都道府県の約500園に上り、また、津波や原子力発電所事故に伴う被害も甚大なものとなりまし

た。被害に遭われた方々に改めてお見舞いを申し上げますとともに、この間の全日私幼連の精力的な被災地支援のお取り組みに敬意を表します。

私学助成課では、このたびの未曾有の被害状況に対処し、特に幼稚園の復旧に迅速に取り組む必要性が高

いた。私学部全体、幼児教育課等の協力も得て手続を進め、大半の園につ

いては、今年度中に交付決定できる運びです。

これに加え、②被災した園に対する経常費補助の増額（平成23年度）、③被災した幼児の保育料等減免を行う園に対する支援（4年間）、④幼児数が減少し経営に不安を抱える園に対する減収分を考慮した支援（4

年間。福島、宮城、岩手県対象）を行っております。

⑤原子力発電所事故に伴い、毎時線量の園を対象に、園庭等の土壤改良への財政支援を行いました。警戒区域内で休園中の園の今後の再開に

ついては、福島県とも連携し支援に努めています。

⑥津波により移転せざるを得ない区域が所管する東日本大震災復興交付金を活用し、市町村が確保・整備した土地又は施設の貸与を受けられる枠組みを設けましたので、宮城、岩手、福島県と連携し支援に努めて

努めてまいります。

まいります。

更に、⑦全国的な耐震化等防災機

能強化のための集中支援プランを推進することとし、予算を拡充しました。今後とも、被災地の幼児教育の復興、全国的な防災対策に取り組んでまいりますので、ご理解ご協力の程お願いいたします。

被災地の子どもたちの健やかな育ちのために

文部科学省初等中等教育局幼児教育課長

蝦名 喜之



未曾有の大災害となつた東日本大震災の発災から1年を迎えた。

大震災によって、お亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、御遺族と被害に遭われ不自由な暮らしを余儀なくされる方々に心からのお見舞いを申し上げます。

また、各園におかれでは、被災した幼稚園児の受け入れなど、様々な形で被災地支援に御尽力いただいておりますことに、重ねて感謝申し上げます。

私はですが、7月に幼児教育課長に就任するまで、発災直後から内閣府に設けられた「被災者生活支援特別対策本部」で勤務し、避難所の生

活環境の改善等に従事しておりました。その際には、避難所を訪問し、避難されている方々から様々なお話を伺う機会がありましたが、「私たちの生活は何とでもするが、子どもたちが元気に遊べないことが不憫でならない」「子どもたちがいるから頑張れる」という多くの方々の声に胸を熱くしたことを忘れることがで

きません。

子どもの健やかな育ちは、いつの時代にも、どこの場所でも、将来へ

の希望の灯です。子どもたちの元気な声が、各地域での復興に向けた取り組みを後押しし、ふたたび震災前のように、さらにはそれを超えて、地域が再生していく力になると確信しています。

文部科学省では、発災以来、14県市324園の幼稚園へのスクールカウンセラーの派遣、被災した幼児47都道府県合計で約5400人の就園

支援、物的被害を受けた15都道県943園の幼稚園の災害復旧や園庭等の除染、被災県の私立幼稚園の安定的・継続的な教育環境を保障するための支援、被災した幼稚園4県19園が地域のニーズを受け認定こども園として再開するための支援、津波等で甚大な被害を受けた幼稚園が市町村全体の復興計画とともに再建を目指す復興事業への支援などに取り組んでまいりました。

発災から1年が経過し、各地域においては、復旧から復興へと取り組みが進みつつありますが、引き続き、子どもたちが元気に楽しく遊び学び育つことができるよう、各幼稚園への支援にしつかりと取り組んでまいります。

特集 東日本大震災から1年を経て

近に眺めることも、海がこんなに近いと感じたことはありませんでした。3月11日午後2時46分。最終バスを待つ子ども、家の迎えを待つ子ども、預かりの子どもたち40人ほどが園に残っていました。

地震発生と同時に、子どもたちも職員も、反射的にいつもの訓練通りに行動し、素早く園庭に避難しました。しかし、異常に強く、何度も襲ってくる揺れに、津波のことが頭に浮かび、近くの高台の老人ホームに避難しました。バスは途中から戻つてきましたが、すでに家に帰した子どももいました。余震はその後も頻繁に続いていましたが、迎えに来た保護者には隨時引き渡していました。

3時30分。瓦礫と共に真っ黒な津波が押し寄せ、園舎を容赦なく襲い、その後ろにある住宅まで流れ込んできました。迎えの保護者に次々と帰したこと、その後の子どもやその家族の安否を確認するまでの不安な日々が長かったこと等々、日が経つほど反省させられることばかりが心に浮かんできます。

許認可、放射線課題は山積

福島県



（宮城県気仙沼市・
葦の芽星谷幼稚園
園長／石川イネ子）

由なことや不便なこと、我慢することも多かつたけれど、互いに寄り添い、子どもたちが笑顔で元気に過ごしている姿にすいぶん励ました。日々でした。そのような生活も、多くの方々からの温かく力強いご支援のおかげで、思った以上に早く、また元の場所から新たなる一歩を踏み出しができます。

この一歩一歩が、子どもたちの明るい未来に続いていく道になることを心から願っています。

避難した園児に保育者が覆いかぶさるようにして地震が収まるのを待ちました。

私たち海の近くに生活する者は、地震の次は津波の避難訓練を関連付けて行なつており、直ちに津波の対応に入りました。ただ、この時間帯がちょうどお帰りの時間と重なつてしまい避難先の判断を迫られましたが、子どもが帰らなければ、親御さんは待ち続けるだろうとの思いから、保護者のもとに帰すことを最優先に考えました。残った子どもたちはワゴン車に乗せ高台のお寺に避難しました。眼下の園舎を津波が

3月11日（金）午後2時46分、か

幼稚園。

襲ったのは、避難後わずか20分後のことでした。

その後、車の中で子どもたちに不

安を感じさせないよう、職員は手遊びや歌、素話をしながら保護者の迎えを待ちました。すべての園児を保

護者のもとに無事帰すことができたのは夜10時頃になつてしましました。4月10日より15km程離れた平第一幼稚園を間借りし保育を開始しま

たが、この一年、原発事故による放電線対応に追われる日々。

この間、表土除去・除染・心のケども園も視野に入れ考えておりますが市の許認可問題もあり、更に放射線の不安も抱え、未だ見通しのたたない状況です。しかし、町の復興のためにも、前向きに進んでまいる所存です。

全国の幼稚園の皆様方から物心両面にわたりご支援を賜り誠にありがとうございました。

海岸から10m程、打ち寄せる波の音と潮の香りに包まれた久之浜第一

4月から12月までは姉妹園に間借りをして過ごしました。窮屈で不自由をして過ごします。

（福島県いわき市、久之浜第一幼稚園園長／青木孝子・写真提供）



茨城県

命があれば 何とかなる

東日本大震災では私立幼稚園連合会関係者より多大なご支援と励ました。お言葉を頂きましたこと感謝申し上げます。

人智をはるかに超えた大災害、「すべてのことばが枯葉一枚の意味も持たない」という表現以外見つからなかつた3月11日。降園後、まだ残つていた30数名の園児と保護者の目の前でレンガが次々と崩落し、ガラス窓は外れ飛び、保育室の外壁は建物ごと外れ、一瞬にして園内は土煙と瓦礫の山と化しました。樹齢百年の木も倒れんばかりの揺れでした。

震災後、園児たちは土煙と一緒に保育室の外に避難しました。園長は「このままでは危険だ」と、園児たちを安全な場所へ移動するため、園庭の外壁を壊して園児たちを外へ送り出しました。園庭には木の枝や瓦礫が散らばり、園庭の外壁は壊れ、園庭の内側は瓦礫の山となっていました。

震災後、園児たちは土煙と一緒に保育室の外に避難しました。園長は「このままでは危険だ」と、園児たちを安全な場所へ移動するため、園庭の外壁を壊して園児たちを外へ送り出しました。園庭には木の枝や瓦礫が散らばり、園庭の外壁は壊れ、園庭の内側は瓦礫の山となっていました。

震災後、園児たちは土煙と一緒に保育室の外に避難しました。園長は「このままでは危険だ」と、園児たちを安全な場所へ移動するため、園庭の外壁を壊して園児たちを外へ送り出しました。園庭には木の枝や瓦礫が散らばり、園庭の外壁は壊れ、園庭の内側は瓦礫の山となっていました。

が、園児はじめ誰にも怪我がなかつたことが何よりの幸いでした。

一週間後、近隣のビル2階60坪の空き部屋があり早速仮園舎いたしました。余震が続く厳しい寒さの中

での引越し準備、とりあえず必要なもののみあとは貸倉庫に預け、4月11日より新年度を始めました。重いドア・大人用トイレ4箇所、手洗い・うがい用蛇口2箇所、園庭もなく、階段を降りますと大きな交差点で一時も気の抜けない保育の場となりました。時間ごとの保育室の繰り合せ、子どもたちがうがいも譲り合いながらの日々です。このような状況中で、多くの卒園生や保護者に支えられての新園舎は3月着工、8月完成の予定の運びとなりました。

本年の地震被災に対し、全日私幼連会長や県幼連会長の視察激励や義捐金等のご支援をいただき、心からお礼申し上げます。幸い園児・保護者・職員等に怪我なく、神に感謝。

下記にて被災から復興までの概略を述べたいと思います。

2012.3.4／私幼時報

だ困難に立ち向かえる力があること

に感銘を受けました。私たちは子どもたち、保護者と共に未だ使つたことのない力を引き出された1年でした。(茨城県水戸市・少友幼稚園園長／宮崎禮子・写真提供)

栃木県

震災から得た 多くの教訓

日) 入園式(4月5日)を挙行。

一方復旧計画は、建築設計士及び

建物構造調査士による検査の結果耐震補強にて改修との判定。激震災における国補助適用地域となり、補助要件は原形復帰が原則と判明。改

修工事設計を一部変更。指名業者5社のうち、最低価格業者を選定。8月31日までに工事完了。9月3、4日保護者の会、おやじの会の協力により本園へ再移動。9月5日から本園舎での保育が始まった。この間、

連合会青年部による現地激励。各園からの遊具提供などに深く感動。

災害を通して避難場所の設定や訓

練の時期など危機管理マニュアルの見直しが必要と痛感。また、復旧事

の選択も考える。しかし、園児の自失。園舎使用不能。当面の休園を保護者へ通知。翌日再建方針等協議決定。当初の仮設園舎建設は、土地確保が農振法や公園規定(条例)などで断念。借用施設確保には、地域の小学校をはじめ近隣施設全般が被害を受けて不可。やむを得ず他園への分散委託や転園を斡旋して廃園な

ども、園児はじめ誰にも怪我がなかつたことが何よりの幸いでした。

— 12 —

2012.3.4／私幼時報

特集 東日本大震災から1年を経て

る園児約40人、預かり保育26人、3便のバスを待っている園児が2つの教室に27人、合計100名あまりの園児と十数名の保護者が園内にいました。園長室にいた私は、大きな揺れを感じて数秒後これは大地震だと判断し、すぐにベランダへ出て園庭に避難しなさいと叫びました。放送設備を使つ余裕などありませんでした。各教室にいた先生方は訓練どおり

（千葉県千葉市・真砂第一幼稚園園長／川上浩・写真提供）

液状化現象の恐怖

業は、対外交渉が多岐にわたり複雑に絡み合って即断即決の判断力が必要。そのため管理責任者は法律や条例、規約契約などに一定の知識を持つことが肝要なことなど大変貴重な教訓となりました。（栃木県宇都宮市・太陽幼稚園園長／寺尾球司）

り迅速に園児を園庭に避難誘導しました。全員しゃがんで揺れがおさまるのを待っていました。その間し字型の園舎がぶつかり合う不気味な音とともにコンクリートが碎け散る音がしました。

見て いる よう に 指示 を 出し 、 足元 の 地面 が 割れ 始め たら すぐ に 全員 で ヒビ の ない 場所 に 移動 し まし た 。 その 間 保 護 者 へ の 連絡 を 取り 続ける と と もに 、 ワンセグ から 情報 を 入手 し て いま し た 。 第二 避難 場所 と し て 指定 し て ある 公園 な ので 保 護 者 が 次々 と お 迎え に き まし た 。 し ばら く す る と 数



財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構・監修 研修ハンドブック



内 容

- 「保育者としての資質向上研修俯瞰図」(全日本私立幼稚園児教育研究機構:作成)のカテゴリ別研修記録
 - 研修履歴一覧表 など

資料

- 改訂 幼稚園教育要領
 - 改訂 保育所保育指針
 - 保育者としての資質向上研修
俯瞰図 など

どのような研修に
参加したかを記録し、
教員としての
資質向上を
サポートします。

B6判 112ページ
定価700円(税込)

お申し込みは(株)世界文化社および世界文化社(ワンダー)販売会社まで

世界文化社

〒102-8187 東京都千代田区九段北4-2-29 TEL:03(3262)5128(営業部)

平成24年度事業計画案

収支予算案など審議

2月22日、東京・私学会館において常任理事会が開催され、22人が出席しました。議長に村山十五副会長、

議事録署名人に坂本洋調査広報委員長、坪井久也認定こども園対策委員長が選任され議事に入りました。

■報告案件1・東日本大震災義捐金

について／中浦正音総務委員長から義捐金の配分状況等について報告がありました。

■報告案件2・全日私幼連会務運営報告の件／各委員会委員長、プロジェクト座長から資料をもとに説明・報告がありました。

■審議案件1・平成23年度補正予算案の件／中浦総務委員長から資料をもとに説明が行なわれ、原案を議決しました。

■審議案件2・平成24年度事業計画案の件／各委員会委員長、プロジェクト

クト座長から平成24年度の事業計画案について説明が行なわれ、原案を議決しました。

■審議案件3・平成24年度収支予算案の件／中浦総務委員長から資料をもとに説明が行なわれ、原案を議決しました。

■協議案件1・子ども・子育て新システムの件／北條泰雅副会長から資料をもとに報告があり、その後協議が行なわれました。その中で、「総合こども園（仮称）」への株式会社

の参入について協議が行なわれた結果、動議により審議案件に切り替えられ、動議により審議案件に切り替えられました。主な内容は次のとおりです。▼講演／演題「幼保一体化について」講師・蝦名喜之文部科学省初等中等教育局幼児教育課長▼意見交換・6つのグループに分かれ、政府の進める幼保一体化についてディスカッション。

いて審議が行なわれ、原案を議決しました。

■協議案件2・全日私幼連会長及び副会長の選任について／中浦総務委員長から資料をもとに説明がありその後協議が行なわれました。

■財全日私幼研究機構からの報告・田中雅道財全日私幼研究機構理事長から資料をもとに報告が行なわれました。

（総務委員長・中浦正音）

全日私幼連

一〇一一条園研修会

2月16日、東京・私学会館において、全日私幼連の平成23年度・10

2条園研修会が開催され、全国から80人の先生方が参加しました。開会式では尾上正史副会長があいさつを述べられました。主な内容は次のとおりです。▼講演／演題「幼保一体化について」講師・蝦名喜之文部科学省初等中等教育局幼児教育課長▼意見交換・6つのグループに分かれ、政府の進める幼保一体化についてディスカッション。

園の安全を考える！



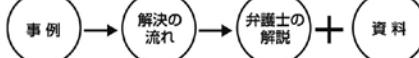
園経営で予想されるあらゆるリスクに対応し、お答えします

こんなときどうする？

子どもたちが安全で幸せな園生活をおくるための危機管理ブック



わかりやすい内容！



セット定価：13,650円（本体13,000円）ケース入り
16-11223
セット内容：（園生活編）B5判 328ページ／（労務編）B5判 92ページ
（資料CD-ROM）for Windows

◎お申し込みは貴園にお問い合わせ下さい。小社特約代理店
もしくは学研幼児教育事業部 03-3726-8711まで

学研

平成24年2月15日

「総合こども園（仮称）」への株式会社の参入について

～我が国の学校教育の公共性を守るために～

全私学連合

■ 意見の趣旨

学校教育としての公共性・継続性・安定性が強く求められる学校教育体系全体の整合性の観点から、学校教育を行う制度と位置づけられる「総合こども園（仮称）」への株式会社の参入については、強く反対することを表明する。

現在、政府が検討している「子ども・子育て新システム」においては、質の高い学校教育・保育の一体的提供や保育の量的拡大の観点から幼保一体化を推進することとされ、その際には、既存の学校教育・保育に係る財政措置の「こども園給付（仮称）」への一本化や、学校と児童福祉施設の双方の位置づけを有する「総合こども園（仮称）」の創設を図ることとされている。

「総合こども園（仮称）」は、国、地方公共団体、学校法人等に加え、主として多様な設置主体の参入による保育の量的拡大の観点から「一定の要件を満たした株式会社」等が設置することが可能であるとされ、財産や役員に関する要件に加え、配当等による資金流出を一定程度制限するという案が示されている。

このたびの「総合こども園（仮称）」について、一定の要件にからしめるとしても、公の性質を有する学校として位置づけることは、重大なる禍根を残すのではないかと危惧するものである。すなわち、「総合こども園（仮称）」に配当の追求を目的とする株式会社の参入を認めるることは、我が国の教育政策の歴史上特異なこととなる。このことにより、国家及び社会の形成者を育成するという公教育の使命が経済効率偏重の観点から歪められる端緒となる可能性を否定し得ないものであり、その可能性が顕在化した場合、公教育に与える影響は計り知れない。

政府の今回の判断は、その内容が後世の評価に耐え得ると十分吟味した上で行われたものであるのか、疑問を禁じ得ない。

待機児童の解消という社会的な要請に適切に対応するため、様々な社会的資源を活用することを否定するものではないが、その陰で、我が国の私学関係者が、當利を目的とせず、公共性・継続性・安定性のある学校の設置のみを目的とした学校法人制度のもとで、これまで長年にわたり行ってきた学校教育の公共性を高める努力に悪影響が及ぶことがあることは断じてならない。

このため、全私学連合としては、学校教育としての公共性・継続性・安定性が強く求められる学校教育体系全体の整合性の観点から、学校教育を行う制度と位置づけられる「総合こども園（仮称）」への株式会社の参入については、強く反対することを表明する。

りまとめに
いて全面的な
了承はできな
い旨の申し入
れを園田康博
ワーキング座
長（内閣府大臣
政務官）へ
即日、申し入
れました。

2月13日、「子ども・子育て新システムに関する基本制度とりまとめ」が内閣府より発表されました。とりまとめにあたっては、基本制

子ども・子育て新システム 基本制度とりまとめ公表される

度ワーキングの最終回（1月31日）で「すべての構成員に対してもかかわらず、十分な調整がなされたことにより、本連合会と

子どもの脳が
めきめき育つ!

森田勝之著
(十文字学園女子大学教授)
定価1,890円(税込)
24×19cm／120ページ
発行・発売 チャイルド本社



新刊



50の



脳と心を育てる あそび

脳科学者が提唱する、0歳からの子どもの脳が めきめき育つあそび集

人の脳の働きである7分野の知性（言語、論理、数学、絵画、音楽、運動、空間、社会）ごとに、年齢別にイラストで紹介します。

民主党私学振興議連で総合こども園への株式会社参入に反対を表明

2月15日、衆議院第二議員会館内の会議室で、民主党の私学振興推進議員連盟（会長・高木義明衆議院議員）の総会が開催されました。会議では、幼保一体化について全私学連合（代表・清家篤慶應義塾塾長）からのヒアリングが行なわれました。

全私学連合からは、清家篤代表、

吉田晋中高連会長、香川敬全日私幼連会長、北條泰雅副会長が出席し、

「学校教育としての公共性・継続性・安定性が強く求められる学校教育体系全体の整合性の観点から、学校教育を行なう制度と位置づけられる

「総合こども園（仮称）」への株式会社の参入については、強く反対する」ことを表明しました。

出席した国会議員からは、「株式会社が参入後に一定期間を経て、学校法人に移行する制度にするべきである」「待機児童解消のためにやむを得ないのではないか」「党内で再度議論をすべきではないか」などの意

見が活発に交わされました。

全私学連合の意見書は15ページに掲載しております。

中央教育審議会 教育振興基本計画部会で意見発表

●私学振興議連、全私学連合が平野文科相へ意見表明

私学振興推進議員連盟の総会終了後、私学振興議連の先生方と全私学連合の先生方は、共に平野博文文部科学大臣を訪問。

全私学連合、議員連盟ともに、総合こども園（仮称）への株式会社の参入については、強く反対することを平野大臣へ申し述べました。

北條泰雅副会長が出席し、次期教育振興基本計画の策定に向けて、児童教育全体の質の向上を図るよう意見を述べました。意見書は18・19ページに掲載。

★政府 子ども・子育て新システム検討会議

『子ども・子育て新システムの基本制度』

政府・少子化社会対策会議で決定される

3月2日に開かれた政府の少子化社会対策会議で、「子ども・子育て新システムの基本制度」が決定されました。今後、消費税関連法案と併せて3月中旬の閣議決定を見据えて、与党の政調会における法案審査の議論等を通じて、さらに検討が進められる見通しです。

出席した国会議員からは、「株式会社が参入後に一定期間を経て、学校法人に移行する制度にするべきである」「待機児童解消のためにやむを得ないのではないか」「党内で再度議論をすべきではないか」などの意

少子化社会対策会議決定

子ども・子育て新システム検討会議



幼児期から児童期への教育

国立教育政策研究所
教育課程研究センター／編
A5判 定価 本体600円（税別）

幼稚園及び保育所と小学校との連携を深めるために、国立教育政策研究所が研究を進め、具体的な実践事例を中心にわかりやすくまとめた指導資料集。



幼稚園における道徳性の芽生えを培うための事例集

文部科学省／編
A5判 定価 本体130円（税別）

乳幼児期における道徳性の発達について、配慮することの基本的な考え方と指導計画作成の手がかり、児童の姿と教師の関わりなどについて述べた書。

ひかりのくに株式会社

本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2 TEL.06-6768-1151代表
支社/〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

議作業グループの下、基本制度ワーキングチームにおいて平成22年9月より「子ども・子育て新システム」の具体的な制度設計について検討を進め、去る平成24年2月13日に「子ども・子育て新システムに関する基本制度取りまとめ」が公表されたことを受け、「子ども・子育て新システムに関する基本制度」を別添1のとおり定める。

また、別添1に基づき「子ども・子育て新システム法案骨子」として別添2を定め、これに基づき子ども・子育て支援法案（仮称）、総合こども園法案（仮称）並びに子ども・子も園法案（仮称）並びに子ども・子子どもと家族のために頑張るママに

本制度取りまとめ」が公表されたことを受け、「子ども・子育て新システムに関する基本制度」を別添1のとおり定める。

育て支援法及び総合こども園法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律案（仮称）の三法案の作成作業

を急ぎ、税制抜本改革とともに今国会への法案提出を行うものとする。

を急ぎ、税制抜本改革とともに今国会への法案提出を行うものとする。

文部科学省だより

株式会社東日本大震災事業者再生支援機構による被災事業者の再生支援

東日本大震災で被災された事業者の二重債務問題

の二重債務問題に関し事業者の債務の負担を軽減しつつ、その再生を図るため、「東日本大震災事業者再生支援機構」が設立されました。

平成24年3月5日より業務を開始しました。概要については、20ページ

に掲載しております。

（幼児教育課）

※株式会社東日本大震災事業者再生支援機構法の詳細については、全日

私幼連のホームページ「東日本大震災の対応について」に掲載しております。

伝えることができます。

このカードを、ご希望の幼稚園に無料で配布いたします。園名、住所、電話番号、希望枚数をご記入の

上、Eメール（cczeropro@ellesnet.co.jp）かFAX（03-5565-4914）で4月25日（水）までにお申込みください。先着1000園様に、5月2日（水）までにカードをお送りいたします。

でもらうというものです。まだ字の書けえをしてもらい、お母さんに手渡し

詳しくはhttp://www.cczeropro.jp/子宮頸がん征圧をめざす専門家会議では、検診とワクチンで子宮頸がない子どもたちでもお母さんに「検診を受けてね」というメッセージを

（☎ 03-3546-2521）



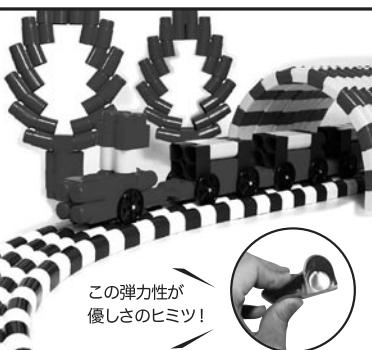
子どもが直接触れるものだから、
より優しくソフトになりました。

新登場 安全への配慮も万全です。

Bプロックソフト

HDF0215 セット ¥40,950 税込
HDF0216 バラ ¥21,000 税込

※詳しくは弊社営業までお問い合わせ下さい。



Bプロックソフトの特長

割れにくくなり耐久性・
安全性がさらにアップ

落としても大きな
音がしません。

軟らかくなつたことによ
り、曲線造形もつくれる
ようになりました。

ジャクエツ

2、第1期教育振興基本計画で示された、小学校就学前の教育の保護者負担の軽減について、さらなる充実・発展を図るための具体的な施策の明記をお願いいたします。幼児教育にかかる保護者負担はOECD平均よりはるかに重い状況のままであり、早急な改善が必要と考えます。

(関連項目／第1期計画p28：基本的方向2・個性を尊重しつつ能力を伸ばし、個人として、社会の一員として生きる基盤を育てる ⑤幼児期における教育を推進する◇幼児教育の無償化の検討を含む保護者負担の軽減)

3、第1期教育振興基本計画で示された、幼稚園等を活用した子育ての支援の推進について、さらなる充実・発展を図るための具体的な施策の明記をお願いいたします。

(関連項目／第1期計画p17：基本的方向1・社会全体で教育の向上に取り組む ②家庭の教育力の向上を図る◇幼稚園等を活用した子育ての支援の推進)

4、東日本大震災において私立幼稚園は人的・物的に大きな被害を受けたことを踏まえて、私立幼稚園の耐震化のさらなる推進を図るとともに、私立幼稚園が地域における一時的な避難所としての役割も果たしてきていることを踏まえて、備蓄倉庫の設置など非常災害時における地域の拠り所としての施設整備を図るなど、今般の大震災を踏まえた具体的な施策の明記をお願いいたします。

(関連項目／第1期計画p34：基本的方向4・子どもたちの安全・安心を確保するとともに、質の高い教育環境を整備する ①安全・安心な教育環境を実現する)

5、教育基本法第11条（幼児期の教育）において、幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものと位置づけられていることに鑑み、幼児教育重視を国家戦略に位置付け、その充実を図ることが不可欠と考えます。あわせて、早急に政府内に担当部署を定め、国家戦略として幼児教育の充実を推進する体制を構築する施策が必要です。

以上

平成 24 年 2 月 24 日

中央教育審議会 教育振興基本計画部会
部会長 三 村 明 夫 様

全日本私立幼稚園連合会

第 2 期教育振興基本計画の策定に向けての意見

第 2 期教育振興基本計画の策定にあたり、熱心な議論を重ねていただきておりますこと心より感謝申しあげます。

このたび標記のことにつきまして、本連合会の考えを下記の通り取りまとめました。お取り計らいのほどよろしくお願ひ申しあげます。

記

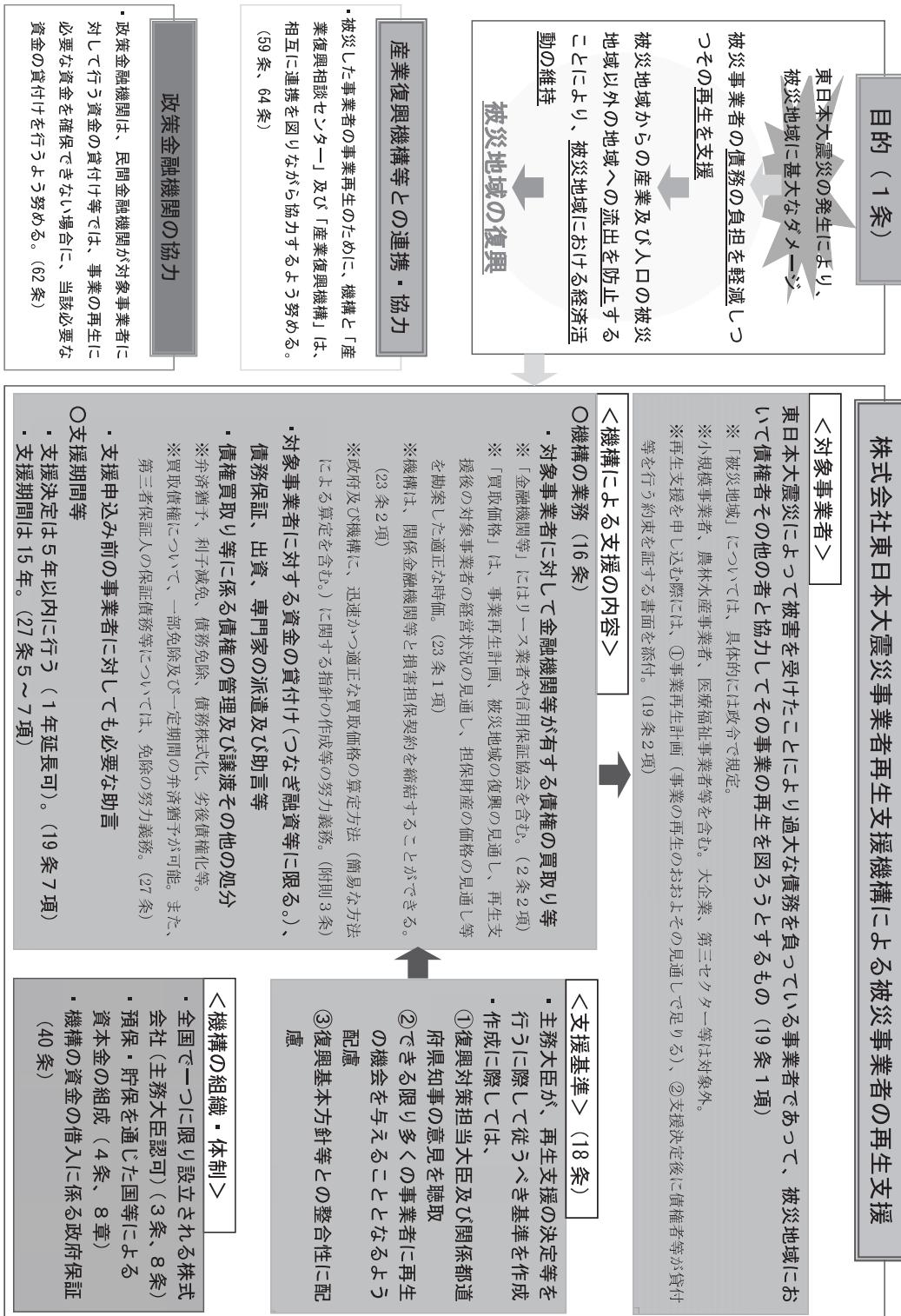
○ 第 2 期教育振興基本計画の策定に向けて

第 2 期教育振興基本計画の策定にあたっては、まず第 1 期の基本計画の検証が十分に行なわれることが必要だと考えます。第 1 期の基本計画ではさまざまな施策が策定されましたが、それぞれの施策について成果をあげることができたのかを十分に検証して、その上で第 2 期の計画策定に望むことが大切であると考えます。そのような観点から、以下の具体的な項目について意見を申し述べさせていただきます。

1、教育基本法第 11 条（幼児期の教育）の規定を踏まえて、幼児教育のさらなる推進に向け、幼児教育全体の質の向上と充実・発展を図るための具体的な施策の明記をお願いいたします。

（関連項目／第 1 期計画 p 27：基本的方向 2・個性を尊重しつつ能力を伸ばし、個人として、社会の一員として生きる基盤を育てる ⑤幼児期における教育を推進する△幼児教育全体の質の向上）

株式会社東日本大震災事業者再生支援機構法について



財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機関

第3回 幼児教育実践学会

■期 間：平成24年8月23日(木)・24日(金)

■会場：東京家政大学(東京都)

あなたの実践研究や園の保育を
ポスター発表してみませんか？



「發表要領」

- 【発表用紙】

 - ポスター発表できるのは(園・個人・研究者)です(ポスター発表は24日に行います)
 - ポスターは各自で持参し、所定の場所に貼って
終了後各自で撤収し、持ち帰りください
 - 発表者は、縦180cm×横90cmのスペースに
実践研究の要旨・図・表・写真などを貼ったポスターを準備し
会場で質問に答えながら自由に討論を深めます。
 - セッション時間中は、必ず在席してください。

〔登録申請方法〕

- 【発表申込方法】

 - E-Mailでの申し込みとなります。 Mailアドレス : info@youchien-kikou.com
 - 申し込み及び発表要旨締め切り: 2012年5月31日(木)
 - 詳しくは、全日本私立幼稚園児童教育研究機構ホームページをご参照願います

お問い合わせ: 財団法人 全日本私立幼稚園幼稚教育研究機構

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私立学会館別館4階 TEL.03-3237-1080 FAX.03-3263-7038 (担当:勝食)

正義の味方

悪の大魔王

1

「いいかみんなきけよ！こまつたことがあつたらぼくにいえよぼくはせいぎのみかたあくのだいまおうだぞ！」

これは今から22年前（1990年）、全日私幼連合会編の「ねえ、おはなしきいて、幼児のつぶやき集」で出会った「名」セリフです。小学生の問題集に、もし上のセリフが載り、「この文で変だと思うのはどこですか？」という質問があつたら、学校教育の立場では、「正義の味方が悪い大魔王なんておかしい」が正解でしよう。では「遊びを通して学ぶ」と言われる幼児教育の視点からは、どうでしようか。この「幼児のつぶやき集」からは、保育という臨床的な場に立ち、幼児と同じ方向を觀ようとする先生たちの眼差しが強く感じられます。それでも、この「正義の味方、悪い大魔王だぞ」の減茶苦茶さは群を抜いています。でも一見明らかな矛盾を

はらんだこのセリフが紹介されたのは、何故なのでしょうか？

大人が考えつかない奇想天外な児の発想として、面白がることもできます。しかしこの言葉に出会った時、私は、直感的に「あ、ゴジラ」と思い、ふと現れては一瞬の中に消えていく、幼児の遊びの本質を象徴するシーンだと感じたのでした。「えーっ、なぜ？」という声も聞こえそうですが。

昭和29年、映画「ゴジラ」が登場し大きな話題になります。大学生だった私は、たまたまこのロードショウの切符をもらい、生まれて初めてワイドスクリーンで「ゴジラ」に對面し、圧倒的な力に心を奪われました。やがて私はその後の「ゴジラ」も含めて、「ゴジラ論」を授業でやり始めます。想像力を刺激された第一作から、やがて子どもを意識したB級作品まで含めて、ゴジラは魅力尽きない心理学資料の宝庫でし



間藤 侑
新潟大学名誉教授

を見た時、「君もゴジラだつたのか」と言いたくなりました。

現実の中ではほとんど無力な幼児たち、想像世界の中で月光仮面やウルトラマン、ゴレンジャーなどの正義の味方に変身し、さまざまな悪の大魔王（怪獣）たちをやっつけます。相手が強いほど正義の力が増殖することも理解しています。彼らは「正義の味方と悪の大魔王」は、面の表と里であることをきつと直感的に感じているのでしょうか。

最近の幼児教育現場では、いろんな理由で、学校教育や学校生活への適応を意識しすぎる風潮が高いとも聞きます。また幼児教育の立場は、短絡的に学校と結び付ける要求や論理に対し少し弱い気もします。しかし学校教育の土台となる幼児教育の本質は、あくまで自由な遊びによる豊かな感性の育成です。そして遊びを語るのは、ずっと昔から、哲学、文学、芸術などの言葉でした。その重さをもつと意識してもらいたいと私は思います。「幼児のつぶやき集」にみるつぶやき、それを語る先生方の言葉は、今も少しも褪せていません。いうよりは、絶対的な正義の象徴でパートⅡも見たいですね。（つづく）

いま、何をすべきか

本県では昨年、平成23年度東海北陸地区私立幼稚園教育研究富山大会が7月28日、29日の2日間、「未来へつなごう 子どもの笑顔」をテーマに開催されました。多くの先生方に参加いただき、本当にありがとうございました。さて、この大会は私自身にとってとても勉強になるものでした。それは、多くの先生に出会うことができ、多くのことを教えていただいたからです。

開会式の来賓祝辞で富山市長森雅志氏が「本市におきましては、県内初となる公立の認定こども園を平成24年4月に開園するよう準備を進めています」と話されました。私は「なぜ私立の大会で公立の認定こども園開園の話をされるのだろう」と疑問を持ち、後日そのことを詳しく調べてみたところ、ある地区的公立幼稚園と保育所の老朽化とともに開園であること、幼稚園型で保育にかける部分は無認可である

こと、定員が二つの旧の幼稚園と保育所を合わせた数の倍以上になることなどわかりました。さらに富山市私立幼稚園協会には具体的な説明がなかつたということでした。疑問が憤りに変わり、その気持ちを親しい幼稚園の先生に打ち明けると思わぬ返事が返ってきました。「市を責められないよ。幼保一体化という流れでは自然なことだし、そこを愚痴つているよりも、私立幼稚園として市町村行政に対してもっとアンテナを高くし、連携・協力体制をとることの方が重要だね。一体化になれば補助金の窓口は市町村行政になるのだから。そして何よりも大切なことは、子どもの未来のため、今何をすべきか、これを一番に考えていいこうじやないか」と。自分自身を恥じ、向かうべき方向性を教えられた出来事でした。

富山県メモ
面積:4247.61km²
県花:チューリップ
県鳥:ライチョウ
県木:タテヤマスギ
県獸:ニホンカモシカ
県のさかな:アリビ、おれいわ

私立幼稚園に期待され、また担うべき役割はますます広がっています。兵庫県においても、地域の未就園児の親子に対するさまざまな子育て支援事業が兵庫県からの助成を受けて実施されています。

事業としては、「乳幼児子育て応援事業」という名称で、在宅で子育てをする親の孤立化を防ぎ、子育ての悩みや経験を共有する場としての、0歳～1歳児の乳幼児親子を対象とした「子育てサロン」に対しての助成がなされています。

また「私立幼稚園2歳児子育て応援事業」として幼稚園での幼児教育体験と保護者に対する学びの機会を提供する園に対する支援、さらには核家族化や少子化が進み、年少の子どもとのかかわりが減少している中で、高校生に対する保育体験学習を幼稚園が積極的に受け入れることができるよう事業補助もなされて

います。まさしく0歳児からの親と子どもにとつての「育ちの場」としての幼稚園の使命はますます大きくなっていく中で、県とも協力してその役割を果たしていきたいと願っています。

就学前の子どもに対する幼児教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援を総合的に提供する機能を備えた施設としての「認定こども園」は、兵庫県下で60施設が認定を受けています。今後、幼保一体化に向けての準備が本格的になされていきます。

ですが、さまざまな制度への対応に留まることなく、子どもの健やかな成長が第一に考えられた保育と子育て支援がなされるように、兵庫県私立幼稚園協会としての研究・研修が求められています。

(兵庫県私立幼稚園協会理事、神戸市・神戸YMCAちとせ幼稚園／吉田昌義)

期待される子育て支援

兵庫県メモ
面積:8,396.13km²
県花:ノジギク
県樹:クスノキ
県鳥:コウノトリ

(富山市私立幼稚園協会副会長、富山市・リンデ幼稚園／藤島秀恵)

兵庫県からのおたより

編集

後記

昨年の3月11日

午後2時46分、東

日本を突如襲った
ことの大震と大津波
のことを忘ることはできま

せん。

あの日、死者1万5千人、行方不明
者3千人以上という驚愕すべき被害
が生じました。同日、東電福島第一
原発では恐るべき災厄が発生し、数
飛散等が相次ぎました◆あの日は日

本の「安全神話」も飛散した日。私
たちの生き方が、3・11以前と以後
というように分かれた日でもあります

す。今月、あの日から1年目を迎
ました◆今月号は「東日本大震災か
ら1年を経て」と題した特集を組み
ました。このため岩手県、宮城県、
福島県の団体長。また茨城県、栃木
県、千葉県の団体長。さらには被災
地の園長先生方にもご執筆いただき
ました。心から感謝申し上げます◆

こうした特集はとくに終息宣言と誤
解されがちですが、わが全日私幼連
の真意は違います。今回の被災地に
対する支援は、本当に長く辛抱強く
続けなければならぬからです。

(調査広報副委員長・奈良哲夫)

ライターの火遊びによる火災を防ぐには、 周囲の大人の注意が欠かせません!!



子どもの手の届かないところにおきましょう

家中、車の中にライターを放置せず、子どもの手の届かない場所に
きちんと保管しましょう。



子どもに触らせず、火遊びの危険性を教えましょう

子どもにライターを触らせないようにしましょう。

子どもがライターで火遊びをしているのを見かけたら、すぐに注意してやめさせましょう。

理解できる年齢になつたら、家庭や学校で子どもに
火遊びの危険性を教えることも大切です。



不要なライターはきちんと捨てましょう



利用しなくなった古いライターが、ありませんか？

ライターは使い切るかガス抜きをして、各自治体のルールに従つて正しく廃棄しましょう。

ガス抜きの方法と注意事項の情報は(社)日本喫煙具協会HPをご覗く

ください。

<http://www.jsaca.or.jp/info/throw.html>



子どもが簡単に使えないPSC対応ライターを使いましょう

平成22年から、いわゆる使い捨てライターや多目的ライターの販売規制が開始されました。平成23年9月27日以降、子供が簡単に操作できない児童対策(チャイルドレジス

タンス機能)が施されたPSC対応ライター以外は販売が禁止されています。

安全のため、子どもが簡単に使えないPSC対応ライターを使いましょう。

また、PSC対応ライターであっても、周囲の大人の注意が必要です。

経済産業省 商務流通グループ製品安全課 電話番号 03-3501-4707

規制に関する情報は、経済産業省の製品安全ガイドHPをご覗くください

http://www.meti.go.jp/product_safety/

製品安全ガイド

検索

月刊保育雑誌



理事長・園長・副園長・主任…保育現場をマネジメントするすべての保育者のために

園の未来をデザインする 保育ナビ

定価 950円(税込) B5判 80ページ

4月号の主な内容

特集 園長が考える、これからの組織づくり
もし「園長」がドラッカーの
『マネジメント』を読んだら

- 園の防災・危機管理
- 人材を育てる! コーチングPlus (ほか)

ISBN978-4-577-81322-5 784

ご注文・定期購読のお申し込みは下記まで
03-5395-6608 営業総括部

本社: 〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9
<http://www.froebel-kan.co.jp> キンダーブックの
フレーベル館

動画ムーラーション

360°ビュー

デジタルブック

効果的に園をアピールして
スピーディに入園希望へ
導きます。

ホームページ パワーアップ オプション

株式会社 **チャイルド社** コンピュータ部
〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-37-15 / TEL.03-3333-2345

— 24 —

2012.3・4 / 私幼時報